

そして日本は今、  
「移民問題」で  
さらなる危険を  
招こうとしている。

たとえば名古屋市で、  
朝の通勤途中の女性が、  
ウズベキスタン国籍の  
男に襲われた。

イスラム法でレイプを  
立証することは困難で、  
ヨーロッパではすでに  
性犯罪が激増している。

「移民問題」を放置すれば、  
日本の女性も  
安心して夜道を  
歩けなくなるだろう。

実は世界には、  
移民を推奨する  
金融エリートたちがいる。  
たとえば世界最大の投資家  
ジョージ・ソロスは、  
こう述べた。

国境は  
邪魔であり、  
撤廃すべきだ。

この人物は、  
埼玉県川口市の  
クルド人問題でも  
NGO「JANINGO」  
の援助を通して  
移民を擁護している。

先の大戦に敗れて以来、  
実は日本は金融エリートたちの  
金融的植民地であり、  
そして今

移民によって、  
滅びの危機を  
迎えているのだ。

日本  
リベッツヤーズ

無料公開  
真実を知りたい方は  
当サイトから



山折り

# 日本 リベッツヤーズ

与国秀真  
YOKUND Hotsuma

目に見えない世界で起きている

## 光と闇の戦い

東京は、  
電話が盗聴され、  
スパイが銃を撃ち合い、  
電車に乗る時には  
必ず自分の背後を  
確認する必要がある  
危険な街である。

それは、マイケル・ジャクソンが  
マルク・シムズが  
『闇の牙』と題した書誌に  
向けて書いた書誌だ。  
その話の主人公は、シムズは  
日本人の父とアメリカ人の  
母を持つ日系アメリカ人で、  
CIA工作員であり、  
そして暗殺者だ。

東京は、危険な街！

これは真実である。

たとえば2008年9月、リーマン・ショックによる不況がまだ後を引いていた当時、

中川昭一財務大臣は、ホワイトハウスに向けて次のように猛抗議した。

日本は黙ったまま、世界のキャッシュ・デイスペンサーになるつもりはない！



その後、彼は敵前会見を行って財務大臣を辞職し、その約半年後、

**自宅で謎の死**を遂げた。



実は日本国民に買やらせられている約100兆円の国家予算？「一般会計」の奥に

「特別会計」というものがあり、**実際の日本の国家予算は、約270兆円**ほどである。

しかしこの「特別会計」は財務省のホームページには記載されていないものの、国会できちんと議論されたことは一度もない。

谷折り

2001年に民主党の石井紘基議員が、宮澤喜一財務大臣に、こう質問した。

特別会計がいくら知っているか？

一度、お調べしまして…

情けないことに宮沢財務大臣は、「特別会計」を把握していなかった。

石井議員は「特別会計の闇」を国会で暴こうとして、その3日前の2002年10月25日、**殺害**された。彼は死の直前「日本がいつか戻るほど重大なことを発表する」と語りこんでいる。

殺害した暴力団員はテレビの取材で

4500万円もらって**殺害**を頼まれた

と、はつきり答えた。

私たち国民が納めた税金の使い道を政治家が正そうとすると

**殺される。確かに東京は、危険な街**なのだ。

この状況が戦後何十年も続いている。つまり日本がキャッシュ・デイスペンサーならば、それは日本人がATMであることを意味する。

